

ABIC 国際社会貢献センター

Information Letter

No.37 2013年6月

第40回理事会・第13回通常総会を開催	2
2012年度（平成24年度）事業報告	2
2013年度（平成25年度）事業計画	5
2012年度（平成24年度）決算及び2013年度（平成25年度）予算	6
役員等	6

自治体・中小企業支援	クリア経済アドバイザーとしての2年半を振り返って	7
-------------------	--------------------------	---

教育	立命館アジア太平洋大学（APU）での英語による会計学の講義	8
-----------	-------------------------------	---

留学生支援	東京国際交流館 春の新入館者歓迎バザー	9
--------------	---------------------	---

事務局だより	関西会員懇親会を開催	9
	ABIC事務局組織	10
	会員の種類	11
	法人・個人正会員／賛助会員一覧、活動会員数	11
	賛助会員入会のお願	12

特定非営利活動法人 国際社会貢献センター (ABIC)
Action for a Better International Community

<http://www.abic.or.jp>

〒105-6123 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル23階
Tel : 03-3435-5973 Fax : 03-3435-5970
e-mail : mail@abic.or.jp

【関西デスク】
〒541-0053 大阪市中央区本町4-4-24 住友生命本町第2ビル9階
Tel & Fax : 06-6226-7955
e-mail : kansai-desk@abic.or.jp

第40回理事会・第13回通常総会を開催

5月31日（金）、日本貿易会会議室において第40回理事会並びに第13回通常総会がそれぞれ開催されました。議題として①2012年度事業報告及び収支決算、②2013年度事業計画及び収支予算、③定款の一部変更、④理事の補充選任が審議され、いずれも原案通り承認されました。また副会長には、國分文也丸紅社長が新たに委嘱されました。



2012年度（平成24年度）事業報告

活動分野	主要事業	主な活動状況 ＜活動実績：2012年度 延べ人数1,536名＞ ＜活動会員数：2,317名（2011年度末比123名増加）＞	活動実績 (延べ人数)		
			2012年度	2011年度	00~12 年度累計
政府機関 関連	ODA関連等への人材推薦・紹介、政府関係諸事業の受託、本邦中小企業支援関連への人材推薦・紹介、人材育成セミナー等への講師派遣等	<ul style="list-style-type: none"> 海外での活動：JICA長期・短期専門家・シニア海外ボランティア、外務省領事シニアボランティアで10カ国、合計11名が常駐または中長期出張ベースで活動（チュニジア、インド、パキスタン、コスタリカ、エルサルバドル、パナマ、コロンビア、アルゼンチン、メキシコ、へ各機関からの派遣）。 国内での活動：JETROの輸出有望商品発掘事業（5名）、JETRO非常勤嘱託職員（5名）、中小企業基盤整備機構の中小企業支援事業アドバイザー・販路開拓ナビゲーター（5名）、HIDAでの講師派遣など協力（2名）を継続。文部科学省拠出金支出案件（国際移住機関/IOMが執行）「定住外国人の子どもの就学支援事業（虹の架け橋教室／常総、下妻）」は4年目となり、また文化庁による「生活者としての外国人」のための日本語教育事業を受託した。 上記諸機関に加え、文科省留学生交流拠点整備事業の委員及び経産省「人を活かす産業懇談会」パネリストを務めた。又、中小企業庁、文部科学省、近畿経済産業局、関東経済産業局、中部経済産業局等とのコンタクトを継続・強化した。 	93	106	996
NGO/NPO 等非政府機関	NGO等への人材推薦・紹介、活動強化への協力	<ul style="list-style-type: none"> NPO国連世界食糧計画WFP協会にアドバイザーとして、またNPO産業技術活用センター（日本経団連のメンター事業を協同推進）にメンター登録して適宜支援活動を継続。NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会の賛助会員としてNPO活動に関する情報収集を行っている。 	11	11	157
地方自治体・ 中小企業支援	地方自治体の推進する中小企業育成支援（販路開拓、海外ビジネス促進等）や農産品輸出促進・企業誘致等への協力、及び中小企業、諸組織への直接支援・協力（海外進出・経営支援等）	<ul style="list-style-type: none"> 年間業務委託契約締結先の地方自治体（和歌山県/産業振興財団、山口県/産業振興財団、山梨県/産業支援機構、富山県/新世紀産業機構、千葉県/ジェトロ千葉貿易相談センター）との取り組み継続に加え、横浜市、岐阜県/産業経済振興センターとの取り組みを開始した。大分県、福岡県の首都圏販路拡大支援事業は本年度は取り止めとなった。 他の地方自治体関係では、東京都中小企業振興公社ビジネスナビゲーター及び海外販路開拓アドバイザー、大阪府/東大阪市共同のクリエイションコアの他、宮城県/長野県/神奈川県/三重県/兵庫県/島根県/愛媛県/福岡県/和歌山県の企業誘致や販路開拓アドバイザー等で活動、兵庫県/ひょうごの美味し風土拡大協議会への輸出プロモーター、福島県での国際化支援アドバイザー、自治体関連組織での韓国語及びロシア語の翻訳活動、私企業での海外ビジネスアドバイザー、などの紹介を行った。また各自治体主催のセミナーへの講師派遣も要請に基づき、都度行った。関西デスクでは大阪市/国際経済振興センター、神戸市/経済局のアジア進出支援センターと産業振興財団に総計70名のABICのメンバーが登録済みでその中から必要に応じて中小企業へのサポーターとして長期・短期で活躍している。2012年度は延べ20人が活動、デスクへの直接依頼で4社への実績あり。今期宮崎県・香川県との取り組みが始まった。 2012年度も過去の活動実績への評価が高まり、口コミ、ホームページ、会員経由等により、これまで実績の無かった地方自治体、中小企業あるいは諸組織からの支援要請が増加し、活動機会が広がっている。 	585	449	3,457

活動分野	主要事業	主な活動状況 ＜活動実績：2012年度 延べ人数1,536名＞ ＜活動会員数：2,317名（2011年度末比123名増加）＞	活動実績 (延べ人数)		
			2012年度	2011年度	00～12 年度累計
外国企業支援	外国企業の日本進出・販路開拓支援及び日本企業海外赴任者相談	<ul style="list-style-type: none"> 5年目となった国際ナノテクノロジー国際総合展でのスペイン語圏在京大使館ルートからのバイリンガル・ビジネス・アドバイザーの活動に加え、在京海外大使館からの依頼にも対応している。また、東南アジア企業への人材紹介、日本でのビジネスについての相談や日本企業の海外赴任者赴任前研修への講師派遣も行っている。大手人材派遣会社の異文化理解、グローバルビジネス交流等についても講師派遣、活動の幅を広げている。 	70	45	448
大学及び社会人講座	大学・社会人講座等での講座実施	<ul style="list-style-type: none"> 43大学・組織へ講師派遣。年間講座数75、コマ数1,517を実施。対象組織数は昨年度とほぼ同等を維持したが、講座数、講師数共に減少した。特に講師数は同じ講師が複数の講座を受け持つケースが増加した為に昨年度比減となった。今年度は特に新規会員の活動機会提供を優先し、講師の入れ替えや魅力ある講座の組み立てに注力した。 新規講座として高知大学、津田塾大学、東京都市大学、エイジェックなどから受託した。 文部科学省主催のセミナーなどでABIC大学講座の取り組みPR活動を行った成果として、まず高知大学より依頼があり、2012年度に実現した。引き続き多数の大学よりABICの講座に対する問い合わせが来ており、2013年度の新規講座獲得に向けて各大学との協議を行っている。 	294	311	3,270
教育	国際理解教育支援等 小中高校への講師派遣 在日外国人児童への日本語指導等	<ul style="list-style-type: none"> 小中高校生や教職員への国際理解講義・講演会へ引き続き注力した。また「横浜市立南高校附属中学校」などとの関係先増が実現した。 関西学院大学（2003年2月に連携協力協定締結）との協力関係を進め、引き続き海外からの留学高校生と日本の高校生との「高校生国際交流の集い」（1泊2日）を関西で実施した。関東での青山学院大学との連携は昨年度東日本大震災の後遺症で中止となった後を受けて、本年度再開を果たすことができた。また、2007年度から正課に昇格した関西学院大学で夏季に開催される高大連携授業の側面支援も引き続き行い、2012年度の授業ではABICの会員が1コマ講義を行った。 東京都多摩市及び新宿区において教育委員会に協力し、外国籍児童・生徒に対する日本語学習支援を引き続き実施し、大きく好評を得た。 東京都内の中高一貫校においてキャリアデザイン教育講座を初めて実施した。 大津市立栗津中学校で今年度も国際理解教育の為、5人の講師を派遣。滋賀県教育委員会学校支援センターHPにABIC関西デスクの国際支援教育活動内容を登録。併せ、京都市教育委員会にも同様の団体登録を行った。 	127	46	811
在日留学生支援	在日留学生支援・交流	<ul style="list-style-type: none"> 東京国際交流館において、引き続き日本語広場、日本文化教室に多数の講師陣を送ると共に、バザー、フェスティバル等の催しにも協力。 2006年度から開始した国際交流館在住の留学生家族支援（健康診断、子女入園・入学手続き等）が増加し、大変好評を得ている。 	247	280	1,451
国際イベント等	国際イベント等への協力	<ul style="list-style-type: none"> 2012年度は国際イベントが実施されず、実績はゼロであった。 	0	0	129
その他活動・一般求人等	その他活動・一般求人等	<ul style="list-style-type: none"> 会員会社の社会貢献事業への支援を継続（三井物産推進の「在日ブラジル人子女教育支援」①奨学金供与プロジェクト②NPOなど支援プロジェクトなど）。 教育及び留学生関係で、過去紹介した帝京大学/日本文化大学/LEC大学教授・講師、及び学生情報センターの紹介による政策研究大学院大学国際交流会館管理業務者も継続となった。新たにグローバル人材の育成を行う(株)グローバル教育への講師、外国の日本語弁護士事務所での法律用語解説講師の紹介などを行った。 ABIC日本語教師養成講座（第12、13期）を継続し実施した。第1期から12期までの講座修了者130名の内約半数が地方公共団体や東京国際交流館において日本語講師として活躍している。昨年度より新たに「エコロジー促進事業共同組合」が主催する外国人技能研修生集中研修の一部としての日本語研修に講師として参加、各地の国立青年の家に延べ8名の会員が活動している。 日本貿易会内の業務効率化支援として、新聞クリッピングへの協力を継続。 	109	143	801
合 計			1,536	1,391	11,520

活動会員関係	活動会員増強	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献・ABIC委員会委員を通じて、各社OB/OGへの配布文書や退職時の一連書類にABIC入会案内を同封願った。伊藤忠商事(株)、丸紅(株)の校友会ホームページにABICのリンクを追加してもらった。
	活動会員スキルアップ	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も大学・EC等 講座講師勉強会を実施した（東京10月23日 50名参加）。 2006年10月に開講した日本語教師養成講座を継続し、今年度は第12、13期合計18名が修了証を取得予定。第1期からの講座修了者は139名となる予定で修了者は主にボランティアとしての日本語講師として活躍している。

<p>広報活動等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 活動会員、関係先向けの『ABIC Information Letter』を発行（年3回 6/11/3月 No.34/No.35/No.36）。 日本貿易会の機関誌『日本貿易会月報』に毎月「ABICプラザ」のコーナーでABICの活動報告や活動会員のレポートを掲載し、ABIC活動のPR、紹介に努めた。また日本貿易会のホームページにおいてもABICのホームページをリンクして貰っている。 プレーンズ10月17日号にてABIC事務所移転の記事が掲載された。 文部科学省主催のグローバル人材育成推進事業、留学生交流拠点整備事業のシンポジウム及び経産省主催の人を活かす産業懇談会等でABICのPRに努めた。 今年度も、東京国際交流館主催の春・秋の新入館者歓迎会にてバザーを実施。また、夏の「交流館フェスティバル 2012」において、ABICが指導している華道、書道コーナーを設けて来場者に対応した。バザーについては、ABIC活動会員並びに社会貢献・ABIC委員会経由法人正会員各社役員から多くの品物の寄贈を頂戴してほぼ完売となり、売上金の殆どを、夏祭りの浴衣や交流館の行事に役立てて貰うべく寄贈した。
<p>事務局関係</p>	<p>事務局体制</p> <ul style="list-style-type: none"> コーディネーター、プロジェクトスタッフについては26名とした。なお、在日ブラジル人子女教育支援の特定プロジェクトスタッフ及びパートタイマーとして、複数名任用。 <p>経理・総務： 道家千波、黒木裕美・青柳友紀 [プロジェクトスタッフ]、(橋本政彦)</p> <p>地方自治体・中小企業支援グループ： 高廣次郎・佐藤 徹・新妻純一 [プロジェクトスタッフ]、野津 浩 [参与/プロジェクトスタッフ=新規案件開拓]、川俣二郎、白石一郎</p> <p>外国企業支援グループ： 西山勝昭</p> <p>大学・EC講座グループ： 森 和重、谷川達夫、猪狩真弓、布施克彦、恩田英治、坂野正典 [プロジェクトスタッフ]</p> <p>小中高校国際理解教育グループ： 角井信行、(川俣二郎)</p> <p>産学協同プロジェクトチーム： (角井信行、川俣二郎、大西稔男・橋 弘志 [プロジェクトスタッフ])</p> <p>留学生支援グループ： 田中武夫、鎌形勲</p> <p>アジアグループ/中国デスク： <空席></p> <p>インドネシア・インド他デスク： 橋本政彦</p> <p>メコンデスク： 篠崎 尚 [プロジェクトスタッフ]</p> <p>中南米デスク： (森 和重)</p> <p>在日ブラジル人子女教育支援（三井物産案件）チーム： (森 和重)、畑 宏幸、高岡淳二、星野和俊、柴崎敏男、藤原真理、松本一子</p> <p>「虹の架け橋教室」推進チーム： (森 和重)、栗田政彦、千葉明子、他現場担当コーディネーター/パートタイマー</p> <p>関西デスク： 吉富茂隆、藤原照明・大西稔男・橋 弘志・赤田 堅・松尾謙二 [プロジェクトスタッフ]</p> <p>事務局運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局員1名休職につき、経理関係常駐事務局員として派遣会社とスタッフ派遣の契約を継続した。 全省庁統一資格の更新など諸契約、規則・規程の整備は適宜進めた。

<p>会員状況</p>		<p>法人</p>	<p>個人</p>	<p>賛助会員</p>	<p>法人</p>	<p>個人</p>	<p>年度毎活動実績</p>	<p>延べ人数</p>	
	正会員	<ul style="list-style-type: none"> 17社、1団体（2011年度同様）：伊藤忠商事、稲畑産業、岩谷産業、兼松、協同木材貿易、興和、JFE商事、住友商事、双日、蝶理、豊田通商、長瀬産業、阪和興業、日立ハイテクノロジーズ、丸紅、三井物産、三菱商事、日本貿易会（社名50音順） 	<ul style="list-style-type: none"> 9名（2011年度同様）：池上久雄、寺島寛郎、小島順彦、宮原賢次、吉田靖男、岡素之、佐々木幹夫、勝俣宣夫、小林栄三（入会順） 		<ul style="list-style-type: none"> 3社（2011年度同様）：(株)イーコマース研究所、(株)エックス・エヌ、キーリサーチネット(株)（五十音順。いずれも活動会員が所有する会社） 	<ul style="list-style-type: none"> 380名（2011年度末比 1名減）…新規登録もあったが、退会者（死亡退会者含む）があった為減少 	<p>2000年度 (H12) 16</p> <p>2001年度 (H13) 213</p> <p>2002年度 (H14) 458</p> <p>2003年度 (H15) 586</p> <p>2004年度 (H16) 562</p> <p>2005年度 (H17) 694</p> <p>2006年度 (H18) 767</p> <p>2007年度 (H19) 1,132</p> <p>2008年度 (H20) 1,307</p> <p>2009年度 (H21) 1,430</p> <p>2010年度 (H22) 1,428</p> <p>2011年度 (H23) 1,391</p> <p>2012年度 (H24) 1,536</p>		
	活動会員	<ul style="list-style-type: none"> 2,317名（2011年度末比 123名増） 							

2013年度（平成25年度）事業計画

活動分野	主要事業	重点活動内容	延べ人数	
			2013年度 目標	2012年度 実績
政府機関 関連	ODA関連の 人材推薦、 政府機関諸 事業の受託、 人材育成セ ミナー等へ の講師派遣	<ul style="list-style-type: none"> 海外での活動：JICA長期・短期専門家・シニア海外ボランティア、JETRO専門家、外務省領事シニアボランティア等の確保。 国内での活動：JETRO中小企業海外進出支援・非常勤嘱託職員・貿易相談員、中小企業基盤整備機構、及びHIDA（財団法人海外産業人材育成協会）等での研修講師派遣の受託増。文部科学省（国際移住機関）事業「虹の架け橋教室」の継続受注（済み）と円滑な運営。 経済産業省、JETRO、JICA、外務省、文部科学省、文化庁、観光庁、農林水産省、HIDA等とのコンタクト維持・強化。 	100	93
NGO/NPO 等非政府機関	NGO等への 人材推薦・ 紹介、活動強 化への協力	<ul style="list-style-type: none"> NGO、他NPO、国際機関とのコンタクト継続。 	10	11
地方自治体・ 中小企業支援	自治体の国 際化・中小 企業の販売 促進活動・ 海外進出・ 経営支援・ 協力、中小 企業への直 接支援	<ul style="list-style-type: none"> 年間業務委託契約締結先の地方自治体（和歌山県/わかやま産業振興財団、山口県/産業振興財団、山梨県/産業支援機構、富山県/富山県新世紀産業機構、岐阜県、横浜市など）との一層の関係強化。新規の年間業務委託契約の獲得（宮崎県、兵庫県、大阪市都市型産業振興センター他）。 継続支援・協力先の地方自治体（東京都ビジネスナビゲーター・海外販路開拓非常勤職員、大阪府/(財)東大阪市中小企業振興勤労者福祉機構、大阪国際経済振興機構、神戸市/産業振興財団、神戸市商工会議所、滋賀県産業支援プラザ、企業誘致アドバイザー＝宮城県、和歌山県、愛媛県）との一層の関係強化。他地方自治体（香川県、群馬県、福島県、福岡県等）への積極的なPR推進の継続と受託案件の増大。 ジェットロ等外郭団体や中小企業からの直接支援要請に即応。 	610	585
外国企業支援	外国企業の 日本進出・ 販路開拓支援	<ul style="list-style-type: none"> 国際見本市関係業者とのコンタクト強化・拡大。在日大使館、外国機関駐日オフィスとのコンタクト強化・拡大。 在日海外企業との連携強化・拡大。海外赴任者研修への取り組み継続。 	60	70
教 育	大学及び 社会人講 座	<ul style="list-style-type: none"> 実施大学・組織およびコマ数の維持を図りつつ、講師陣の拡充を図り中央大・大妻女子大等新規大学の発掘を積極的に行う。 提案型講座の拡大。 2003年12月に連携協力協定書締結の関西学院大学との各種協力関係の維持・拡大（講座維持、国際理解教育協力等）。 グローバル人材育成推進事業採択大学へのアプローチ強化。（山口県立大学、神田外語大学、関西学院大学他）。 	270	294
	国際理解 教育支援 等	<ul style="list-style-type: none"> 新規の小中高等での講義・講演先の開拓。文部科学省、自治体教育委員会並びに日本経済教育センターとの連携強化。 産学共同プロジェクトとして、関西学院大学・青山学院大学と協力して2007年度から実施している「高校生国際交流の集い」の企画・実施。 多摩地区の小中学校における在日外国人児童への日本語指導の継続支援。新宿区教育委員会「日本語指導支援（外国にルーツを持つ児童・生徒向け日本語指導）」の継続。 	115	127
在日留学生 支援	在日留学生 支援	<ul style="list-style-type: none"> 東京国際交流館における、日本語広場、日本文化教室に多数の講師陣を派遣すると共にバザー、フェスティバル等の催事への協力継続。 2006年度から開始し好評を博している東京国際交流館在任の留学生家族支援（妊娠、出産、通院、育児、健康管理、入園・就学等）のボランティア活動の充実。 	250	247
国際イベント 等	国際イベント 等への協力	<ul style="list-style-type: none"> 語学ボランティア活動の需要のあるイベントに適宜対応。 	5	0
その他活動・ 一般求人等	その他活動・ 一般求人等	<ul style="list-style-type: none"> NPO、NGO主催のイベントへのボランティア人材紹介。 三井物産推進の「在日ブラジル人子女教育支援」プロジェクトへの実務支援の継続、日本貿易会並びに法人正会員各社の実施する社会貢献活動への人材面での支援・協力。 中央大学・日本文化大学等への教授・講師、東京学芸大学付属国際中等教育学校事務員、グローバル教育講師の契約更新継続。神田外語大嘱託職員3名等教育機関関係を主体とした新規の人材紹介や一般企業への新規人材紹介の積極的な取り組み。 今年度より府中刑務所での通訳・翻訳支援活動開始。 ABIC日本語教師養成講座教師（継続）に加え、社会貢献に資する求人への積極的対応。日本貿易会の事務効率化支援・協力 	130	109
合 計			1,550	1,536

活動会員関係	活動会員勧誘	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献・ABIC委員会経由で各社OB/OGへのABIC入会案内配布協力の継続要請、及びOB/OG会総会及びホームページ等でABIC紹介の機会を貰い勧誘を実施。また、活動会員へも引き続き知己勧誘を依頼。
	賛助会員勧誘	<ul style="list-style-type: none"> 賛助会員数の増加に向け、活動が決まった会員への賛助会員入会依頼を継続。
	活動会員スキルアップ	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教師養成講座の第14期、第15期を継続開講（2006年10月から継続）。 大学等講座講師勉強会（含、英語授業法）を継続実施。
	懇親会	<ul style="list-style-type: none"> 東京・大阪での開催を予定。2012年度は2月に東京、3月に大阪で実施。
法人会員関係	法人会員勧誘	<ul style="list-style-type: none"> 法人会員増に向けて注力。

広報活動	<ul style="list-style-type: none"> 活動会員、関係先向けの「ABIC Information Letter」を発行（年3回 6/11/3月） 日本貿易会の機関誌『日本貿易会月報』に毎月「ABICプラザ」のコーナーやJFTC News（英文）でABICの活動報告や活動会員のレポートを掲載。 ABICパンフレット・ホームページの内容見直し・更新及び一層の充実。 今年度も東京国際交流館が主催する春・秋のバザーや「交流館フェスティバル」にてABICのPRや活動紹介を行う。 文部科学省の「グローバル人材育成推進事業」、「留学生交流拠点整備事業」、「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」等の委員会、シンポジウムでのABIC広報活動継続。 新聞、TV、ラジオ、雑誌等へのABICの露出度拡大（マスコミへの積極的対応）。 	
事務局関係	事務局体制	<ul style="list-style-type: none"> コーディネーター並びにプロジェクトスタッフ同士の情報交換促進。従来年1回開催のコーディネーター会議を今年度より年4回開催。 活動実態に即した組織体制の改編を検討。
	事務局運営	<ul style="list-style-type: none"> 各種データの整理等、業務改善への更なる注力。 諸契約、規則・規程の一層の整備。

2012年度（平成24年度）決算及び 2013年度（平成25年度）予算

(単位：千円)

科目	2012年度 決算額	2013年度 予算額
I 経常収益		
(1) 受取会費	6,795	6,790
法人会費	(4,880)	(4,880)
個人会費	(1,915)	(1,910)
(2) 事業収益	125,303	102,142
日本貿易会	(23,520)	(24,020)
その他	(101,783)	(78,122)
(3) 寄付金収益	-	-
(4) 雑収益	9	510
経常収益計	132,107	109,442
II 経常費用		
(1) 事業費用	110,762	82,699
(2) 管理費用	26,305	30,420
経常費用計	137,067	113,119
当期経常増減額	- 4,960	- 3,677
前期繰越正味財産額	32,629	27,669
次期繰越正味財産額	27,669	23,992

役員等

(敬称略・就任順)

会 長	榎田 松瑩	一般社団法人日本貿易会 会長 三井物産株式会社 取締役会長
名誉会長	勝俣 宣夫	前当センター会長、前日本貿易会会長 丸紅株式会社 相談役
副 会 長	岡藤 正広	伊藤忠商事株式会社 代表取締役社長
	小林 健	三菱商事株式会社 代表取締役社長
	加留部 淳	豊田通商株式会社 代表取締役社長
	中村 邦晴	住友商事株式会社 代表取締役社長
	佐藤 洋二	双日株式会社 代表取締役社長
	(新任) 國分 文也	丸紅株式会社 代表取締役社長
理 事 長	市村 泰男	一般社団法人日本貿易会 常務理事
理 事	松井 勇巳	一般社団法人日本貿易会 理事・企画グループ担当
	三輪 裕範	伊藤忠商事株式会社 伊藤忠経済研究所長
	鈴木 秀樹	豊田通商株式会社 総務部社会貢献室長
	原田 信二	双日株式会社 広報部長
	奥谷 直也	住友商事株式会社 環境・CSR部長
	関 伊知郎	国際社会貢献センター 事務局長
	守屋 義広	三井物産株式会社 環境・社会貢献部長
	松本 匡	丸紅株式会社 市場業務部部长付
	(新任) 秋元 諭宏	三菱商事株式会社 理事 グローバル渉外部長
	監 事	天野 正義
顧 問	池上 久雄	初代当センター理事長、元日本貿易会常務理事
	吉田 靖男	元当センター理事長、元日本貿易会常務理事
	三幣 利夫	前当センター理事長、前日本貿易会常務理事
参 与	宮内 雄史	初代当センター常務理事、初代日本貿易会社会貢献グループ部長
	野津 浩	元当センター常務理事、元日本貿易会社会貢献グループ部長
	名鏡 敬治	元当センター常務理事、元日本貿易会社会貢献グループ部長

クレア経済アドバイザーとしての2年半を振り返って

やまざき 山崎 かずひこ 和彦 (元 住友商事)

2010年9月より、財団法人自治体国際化協会（通称クレア）の経済アドバイザーを、2013年3月末まで務めさせていただいた。実はそれまではクレアの存在すら知らなかったのだが、この協会が1988年に地方自治体の共同の機関として設立され、東京本部以外に7つの海外事務所（ロンドン、パリ、ニューヨーク、シドニー、シンガポール、ソウル、北京）を持つ立派な組織であることを知るに至った。

活動の内容としては、人的国際交流で有名な「JETプログラム」の推進、自治体の海外における諸活動の支援、諸外国の地方自治に関する調査研究、日本の自治体による海外の自治体との交流・国際交流・観光や物産などの経済活動の支援、国内の多文化共生社会推進に向けた取り組み、など「地域の国際化」のための役割を担っている。160名いる東京本部と海外事務所勤務している職員の多くは、地方自治体からの若い出向職員で、皆世界を相手にはつらつと仕事に取り組んでいる大変活気にあふれる協会である。

近年地方自治体の海外における活動が、人的交流から地元産品の販路開拓や観光誘致にシフトしてきていることから、クレアは2010年より、海外での経済活動の経験のある人材を経済アドバイザーとして採用する方針を決め、小生がその第1号となった次第である。クレアのアドバイ

ザーの役割は、多くの人材を有するジェトロや中小企業基盤整備機構などと比較すれば極めて小さい。しかしクレアは地方自治体にとっては、身内であるため何でも気軽に相談できる身近な存在として機能している。多くある自治体の中には、ジェトロや中小企業基盤整備機構の活動そのものを十分認識していないところもあり、かかる自治体にはジェトロ等の活動内容や、発行された資料の紹介なども行っている。

日常的な活動としては、東京本部において自治体からの個別相談への対応を行うことが主であるが、時として地方自治体に赴くこともある。従来は中国関連の相談件数が圧倒的に多かったが、2013年に入りタイ、シンガポール、インドネシア等の東南アジア関連の相談件数が急増している。クレア自体も、希望する自治体を募り従来上海、香港で食品見本市を開催し、期待以上の成果を上げてきたが、2013年は初めてタイのバンコクでの開催を予定している。相談業務以外には、クレア職員への貿易実務セミナー、アセアン事情セミナーや海外赴任前のアドバイスなども定期的に行う機会も得た。

私がクレア勤務中に知り合った多くの自治体の職員が、クレアを通して身に付けた国際的視野を武器に、それぞれの出身母体で、国際化推進の担い手になることを祈願している。



クレア内の職員向け研修風景



アドバイスの風景

教育

立命館アジア太平洋大学（APU）での
英語による会計学の講義よしかわ まさお
吉川 正男（元丸紅）

立命館アジア太平洋大学（APU）で2006年から2012年までの7年間、英語による会計学の講義を行った。同大学は学校法人立命館が大分県別府市に2000年に設立した国際大学で、学生数は学部・大学院を合わせて約6,400人で、その半数が外国人留学生である。

講義のきっかけは、会計学を担当していたエジプト人の教授が母国に帰国中に急逝されたため、その補填ができないかとABICに照会があったことである。ABICのコーディネーターを中心に検討し、募集に応じた私を含めた5人の会員でAPUから依頼の2講義（学部の財務会計と大学院の管理会計、いずれも15コマ）を行う体制が短時日でできた。緊急の対応であったが、ABICのコーディネーターが迅速な調整を進められたおかげであったと思う。大学側も教務部副部長で会計学専攻の教授が窓口になり、講義の進め方などで細かいご指導を頂いた。

初年度の講義を無事に済ませることができたこともあり、翌2007年からは学部3講義、大学院の財務会計および管理会計の計5講義（いずれも15コマ）の依頼となり2010年まで継続したが、2011年に大学側の方針で大学院の2講義に限定され現在に至っている。

私は初年度学部の財務会計を他の会員の方と2人で担

当、2年目は大学院の財務会計を分担で、3年目以降は単独で担当、講義数が増えた期間はそれに加えて学部の財務会計を分担した。講義の担当方式は当初個々の講師の負担を軽くするため、2人または3人での分担（いわゆるオムニバス方式）で始めたが、なれてきたことと大学の意向もあり、3年目からはほとんどの講義を1人の講師が単独で行う形になった。

学部・大学院の財務会計の講義内容は米国の会計基準に基づく初級の会計学で、大学が指定するテキストを使って、勘定科目や仕訳といった会計の入門段階から始まり、資産・負債・資本という会計上の主要項目を全て網羅する幅の広い内容である。私が長く担当した大学院の財務会計では、受講者のこれまでの会計学履修経験がまちまちで、未経験の人たちに入門の部分を理解してもらった上で、その後の講義についてきてもらうことが講師としての課題の1つであった。当初、未経験の受講者の中には講義の内容を理解し、自分の努力とも相まって最終的に優秀な成績を挙げる受講者が少数だが毎年おり、これが講師としての大きな喜びでもあった。講義を行う上では会社（丸紅）を退職後、個人的興味から始めた米国公認会計士試験合格までの勉強が役に立った。

同大学の定年規定により私は2012年をもって退職したが、後任のABIC会員に引き継いでもらって大学院の2講義は2013年も継続している。

昨今グローバル人材の育成が産業界から強く要望されており、全国の大学が国際化の方向へ努力していることは広く知られているが、その方策として多くの大学が考えている交換留学の実現のためには英語での講義の充実が不可欠である。英語で講義ができる会員を多数抱えているABICへの協力要請は今後ますます大きくなっていくと思われる。私も自分の得意な分野でお役に立てることを心掛け研さんに努めたい。

国際化の先端を行く大学の1つであるAPUで長年講師を務め、時代の要請に多少なりとも貢献できたのではと思うが、有意義な仕事の機会とご支援を頂いたAPUとABIC関係者の皆様に感謝申し上げます。



留学生支援

東京国際交流館 春の新人館者歓迎バザー

安定しない天候が続いていた5月だったが、バザー当日の18日（土）は典型的な五月晴れ。初夏を思わせる陽射しと潮風が心地よい一日となった。

東京国際交流館の中庭広場では、恒例の留学生支援バザー（春季）が開催された。ABICの会員および支援企業とその社員、ならびに日本貿易会の役職員の方々等190名を超える皆様から頂いた270箱を超える寄贈品は、品質と値段の両面で好評で21万円を超える売り上げを得ることができた。

今回のバザーも、Resident Assistantと呼ばれる日本人学生が主体となり、ABICの会員8名が販売係として協力

した。これはRAの人数がいまだ30名弱にとどまっているために、東京国際交流館からの支援要請に応えたものだ。

バザーの売上金は前回同様に、同館の留学生支援活動に充当される。ご支援いただいた皆様には厚く感謝申し上げます。

なお、当日は交流館のご厚意により「ABICブース」が設置され、日本語広場の講師が待機し“Bazar is not all we provide, ABIC offer Japanese language and Culture courses as well”の看板の下で、ABICの活動の説明や日本語ならびに文化教室コースの受け付けを行った。

（留学生支援グループ）



事務局だより

関西会員懇親会を開催

2013年3月22日（金）18時～19時半、大阪三井物産ビル「季膳房」において開催しました。ABIC関西地区を中心とする約70名の参加者を得て、市村理事長の挨拶に続き、日本貿易会天野専務理事（ABIC監事）の乾杯挨拶の後、参加者の活発な交流が行われ、懇親を深めました。



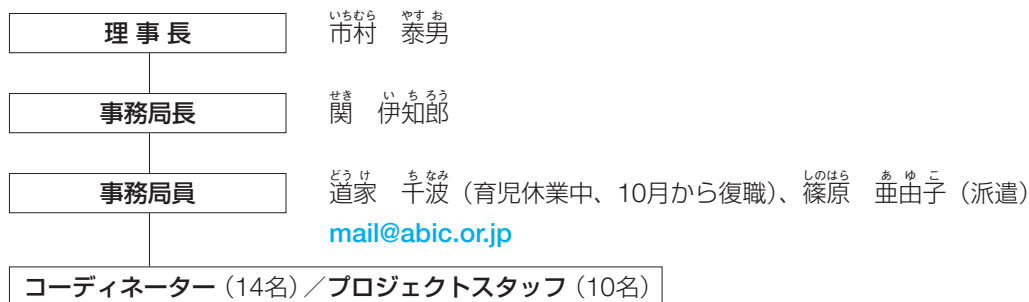
市村理事長挨拶



日本貿易会天野専務理事
（ABIC監事）乾杯挨拶

ABIC事務局組織

2013年7月1日より下記の体制となりましたのでお知らせ致します。



() は兼務者、[PS] はプロジェクトスタッフ

- 総務・会員登録関係 くろき ひろみ
黒木 裕美 [PS]
- 総務・広報・OA <新任> めいしょう けいじ [PS]、あおやぎ ゆき [PS]、<新任> ごとう れいこ [PS]
(名鏡 敬治)
- 経理 (名鏡 敬治)
- 自治体・中小企業支援グループ しらいし いちろう、かわまた じろう、にいづま じゅんいち、たかひろ じろう [PS]、のつ ひろし [PS]、
smesupp@abic.or.jp (高塚 謙次)
- 外国企業支援グループ にしやま かつあき
西山 勝昭
- 外国企業支援グループ support@abic.or.jp
- 大学等講座グループ もり かずしげ、い がり まゆみ、ふ せ かつひこ、たにがわ たつお、おんだ ひではる、ばんの まきのり
森 和重、猪狩 真弓、布施 克彦、谷川 達夫、恩田 英治、坂野 正典
- 小中高校国際理解教育グループ (川俣 二郎)、<新任> たかつか けんじ [PS]
krikai@abic.or.jp
- 留学生支援グループ たなか たけお、くわがた いさお
田中 武夫、鍛形 勲
- 留学生支援グループ abicodaiba@abic.or.jp
- 中南米デスク (森 和重)
- 中南米デスク chunanbei@abic.or.jp
- 関西デスク よしとみ しげたか、<新任> まつお けんじ、ふじわら てるあき、たちばな ひろし [PS]
吉富 茂隆、松尾 謙二、藤原 照明、橘 弘志 [PS]
- 関西デスク kansai-desk@abic.or.jp
- 産学共同プロジェクト (川俣 二郎、高塚 謙次、橘 弘志、松尾 謙二)
- その他案件 しのぎま ひよし
篠崎 尚 [PS] (9月末まで)

e-mailアドレス・住所等の変更届はお忘れなく！

e-mail アドレス・住所などの変更がありましたらご連絡ください。
転居先不明で返送される例が増えています。

e-mail : mail@abic.or.jp FAX. 03-3435-5970

会員の種類

種類	内容	年会費
正会員	センターの活動を推進する個人、法人及び団体。 (理事会の承認を得て入会)	法人及び団体 1口 50,000円
		個人 1口 10,000円
賛助会員	センターの趣旨に賛同し、会費を納める活動会員、並びに個人、法人及び団体。	法人及び団体 1口 10,000円
		個人 1口 5,000円
活動会員	センターに登録し、センターの事業に参加しようとする個人。	不要 — —

正会員

団体・法人（18社）〈社名五十音順〉

〈10口〉 (一社)日本貿易会 伊藤忠商事(株) 住友商事(株) 双日(株) 豊田通商(株) 丸紅(株) 三井物産(株) 三菱商事(株)
 〈4口〉 (株)日立ハイテクノロジーズ 〈2口〉 稲畑産業(株) 岩谷産業(株) 長瀬産業(株) 阪和興業(株)
 〈1口〉 兼松(株) 協同木材貿易(株) 興和(株) JFE商事(株) 蝶理(株)

個人（9社）〈入会順・敬称略〉

池上 久雄 寺島 實郎 小島 順彦 宮原 賢次 吉田 靖男
 岡 素之 佐々木 幹夫 勝俣 宣夫〈3口〉 小林 栄三

賛助会員

法人（3社）〈社名五十音順〉

(有)イーコマース研究所 (株)エックス・エヌ キーリサーチネット(株)

個人（390名）〈敬称略・氏名五十音順〉

〈3口〉 岩間憲道 前田茂 〈2口〉 荒木道介 遠藤寿一 小川秀洋 鬼山敬邦 川俣二郎 久佐賀義光 公平伸夫
 古知屋順 三幣利夫 篠原博 白石一郎 新藤哲雄 高廣次郎 多田勝彦 田中武夫 綱川渡 東宮邦雄 新妻純一
 花岡信明 原芳道 坂東寛隆 肥後照雄 福田洋子 藤井吉郎 藤井眞 細井進 前田耿史 松井史郎 松尾謙二
 松岡鉄 宮内雄史 名鏡敬治 柳沢信義 山田芳正 山本寧雄 山本一良 米代憲雄 〈1口〉 会川精司
 相原正和 赤澤克夫 赤田堅 芦刈茂樹 東光子 安達晋 厚浦孝之 安部忠 阿部徹 阿部雅志 有田五郎
 有田捷一 居内律治 庵原専三 伊賀豊和 猪狩眞弓 生島幸哉 石川清 石橋満 市川彬 伊藤栄太郎 伊東孝之
 伊東泰 稲永丈夫 井上良彦 今井明良 今井正孝 岩本洋之 上田勲 上田巖 植田俊 上田博晟 上野和郎
 上森義美 浮貝泰匡 宇佐見和彦 薄葉徹郎 宇田定三 内川博文 内田康治 漆崎隆司 江藤茂雄 榎本盛明
 榎本啓一郎 江幡吉信 遠藤恭一 遠藤眞喜子 扇文子 大久保浩司 大久保徳衛 大浩義之 大坂和夫 太田俊一
 太田宏 大塚昭雄 大西稔男 大橋幸多 大道豊彦 大森日出太郎 小笠原明生 小笠原正広 岡田一茂
 岡田恵二郎 岡部紘 岡部好夫 岡本勝彦 岡本正 岡本徹 小川晴久 小川洋志郎 小口良喜 小國輝雄
 奥山正裕 小沢規夫 小澤清水 小野勝彦 小畑克之 小船井達夫 表尚志 織辺重之 恩田英治 柿山章
 角井信行 風間誠 片岡紀二 片野無事生 片山丈義 加地潤二 加藤正芳 加藤保弥 金井好弘 嘉根俊治
 金子和夫 金子康之 金子義久 神谷誠一 加輪上敏彦 川嶋則男 川副和之 川村勝司 川村哲也 川本康博
 川本恒彦 岸達也 北詰良三 吉川和夫 木村好作 木村滋 木村秀志 久木田修司 楠井裕章 工藤章 久保田隆

(賛助会員続き)

久保山毅 隈元泰弘 久山周孝 栗田政彦 黒岩浩一 黒岡誠一 鍬形勲 郷原康親 国分利敬 古園井良
 児玉正博 後藤克 小島孝治郎 小峯征三郎 小室洋三 近野治夫 酒井栄造 酒井邦展 坂井啓治 坂上恵一
 坂本章 坂本俊寛 坂本行正 作田幸夫 笹岡太一 笹岡治男 佐藤貴実雄 佐藤徹 佐藤充宏 佐藤隆二
 佐良木忠男 沢田修吾 澤田豊治 塩野寛次 志岐明弘 七字道彦 篠崎尚 島悠紀夫 城台巖 白井俊和
 白土茂雄 城田比佐子 水光勲 須賀直比古 鈴木一三 鈴木惟高 鈴木成高 鈴木紘司 鈴木松子 住井純三
 関晃典 関晴至 関統造 関口幸男 園田真一 醍醐俊明 高崎浩敏 高嶋宏臣 高田維有 高田忍 高田弘
 鷹津俊一 高塚謙次 高梨和彦 竹下浩 竹田信志 竹山克則 田島一靖 田島義彦 橋弘志 田中昭彦 田中功
 田中剛 田中徹郎 田中英樹 田中理明 田邊正明 谷川達夫 谷口武彦 玉木興畠 丹治敬 淡野武司 千野滋樹
 千原長美 柘植幸弘 辻哲彦 辻萬亀雄 辻喜男 辻尾嘉文 土屋英五 都築秀之 津守克平 手塚正明 寺澤昌敏
 寺田好純 遠山晃 戸川順治 富島紘一 友國洋 豊原道雄 中倉弘紀 中嶋鴻明 中島隆一 中園智子
 仲田慎太郎 永田明司 中西孝之 中西康孝 中野英俊 永峰千年 中村静雄 中村昂 中村紀雄 中村恭紀
 梨本進 西桂二郎 西澤俊一 西村寿浩 西山勝昭 新田充成 根岸史修 野口順一 野地哲臣 野津浩 野村哲三
 則満洋祐 橋本裕一 橋本政彦 橋本勝 蓮沼恒郎 長谷川孝一 畑宏幸 畑野浩 羽生憲夫 浜田元雄 林進
 林常介 林良英 葉利博 坂野正典 日笠徹 疋田和三 菱川治 日比野圭三 平野實 廣瀬一郎 廣田幸男
 福井隆治 福原卓司 藤井健一郎 藤井希祐 藤井義親 藤井重隆 藤田敬子 藤田卓 藤村登 藤原照明
 布施克彦 舟橋金之介 古瀬輝明 古橋肇 保坂庄司 星野和俊 星野三喜夫 細野良敦 堀英一 堀正美 堀江博
 前田祥治 前田直明 増田孝次郎 増田政靖 増本光男 松浦義則 松岡壽夫 松下敏明 松田洋三郎 松村直治
 松本信司 松本時男 松山久 眞弓博司 丸山松男 三上亜佐橘 三木喜道 味田村正行 三栗敏 光山武志 南賢
 峯岸伸夫 峯本晴輝 宮井利之 宮内貴正 宮川正裕 宮崎善嗣 宮本正明 三好賢治 武藤滋郎 村井靖武
 村澤嵩 村瀬和男 村瀬省三 村林栄彦 持田修二 望月孜 森悦郎 森岳三 森和重 森達也 森秀夫 森川建夫
 森松直毅 柳田敏明 山内幸雄 山岸正雄 山崎和彦 山路裕之 山田雅司 山田恭暉 山見博康 山邑陽一
 山本啓二 山本秀一 山本博勝 萬木寛 横井正豊 横田納 横田淑子 横山泰雄 吉川正男 吉田紘 吉田房子
 吉田泰興 吉富茂隆 鷺頭三郎 渡邊健三 渡邊義夫

活動会員 2,345名

(2013年5月末現在)

賛助会員入会のお願い

ABICの活動にご賛同いただき、資金的な援助をしていただける活動会員及びその他の個人の方、
並びに法人及び団体の皆様のご入会をお願い申し上げます。

会員入会のお問い合わせ・連絡先

特定非営利活動法人 国際社会貢献センター (ABIC)

〒105-6123 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル23F

TEL : 03-3435-5973 FAX : 03-3435-5970 E-mail : mail@abic.or.jp